

令和 6 年度

東京都がん対策推進協議会

第 1 1 回小児・A Y A 世代がんワーキンググループ

会 議 録

令和 6 年 1 2 月 1 8 日

東京都保健医療局

(1 6 時 0 0 分 開会)

○田村医療連携・歯科担当課長 お待たせいたしました。

ただいまより、東京都がん対策推進協議会「第11回小児・AYA世代がんワーキンググループ」を開会いたします。

医療政策部医療連携・歯科担当課長の田村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、本WEB会議に当たりまして、委員の皆様には2点お願いがございます。

1点目は、議事録作成のため、必ずご所属とお名前をおっしゃってからご発言いただきますようお願いいたします。

2点目は、ご発言いただくとき以外はマイクをミュートにさせていただきますようお願いいたします。

なお、本日の会議は、後日、資料及び議事録を公開させていただく予定でありますので、よろしくお願いいたします。

本日の会議資料でございますが、委員の皆様には事前にデータにて送付いたしております。次第に記載のとおり、資料1から資料3までと参考資料の1から2までとなります。

続きまして、委員の皆様のご紹介です。本来はご出席の皆様全員のご紹介をさせていただきたいところでございますが、時間も限られていますので、資料2-2でご紹介に代えさせていただきたいと思っております。

なお、本日は湯坐委員より欠席のご連絡をいただいております。また、石川委員と北野委員からは16時30分頃からのご出席と伺っております。また、渡邊委員が17時頃のご退出、川上委員は17時20分頃のご退出とご連絡をいただいております。

皆様より、ぜひ忌憚の無いご意見を賜りたく、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これ以降の進行につきましては、松本ワーキンググループ長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○松本WG長 どうもありがとうございます。

それでは、ここから先は、国立成育医療研究センターの松本が進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、まず議事の「(1) 東京都がんポータルサイトにおける小児・AYA世代がん関連のコンテンツについて」でございます。

今日の議事はこの一つになりますので、途中で区切ってご意見、ご質問をお受けしたいと考えておりますので、どうぞ皆様の忌憚の無いご意見、ご質問をよろしくお願いしたいと思います。

それでは、事務局からご説明をお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 資料のご説明をいたします。資料3をご覧ください。

前回のワーキンググループでは、「東京都がんポータルサイト」における小児・AYA世代がん関連コンテンツにつきまして、現在の掲載内容と今後の整理案をお示しし、委員の皆様からご意見、ご質問をいただいたところです。

本日は、小児・AYA世代がん関連のコンテンツにつきまして、「前回ワーキンググループの主な意見と対応」、そして「今後の掲載内容案」についてご説明させていただきます。なお、参考資料1としまして、前回ワーキンググループの資料がございますので、併せてそちらも適宜ご確認いただければと思います。

資料3の2ページ目をご覧ください。

前回ワーキンググループでご説明させていただきましたとおり、現在、東京都がんポータルサイトの再構築に向けまして、コンテンツの整理などを行っているところです。スケジュールにつきましては、前回にお示ししました内容を更新し、ユーザーテストの時期を追加してございます。

ユーザーテストにつきましては、松本ワーキンググループ長をはじめ、一部の委員の方々には11月に実施をお願いしてございます。ご協力いただいた皆様につきましては、ありがとうございます。11月のユーザーテストでは、対象者を限定してございましたが、次回2回目のユーザーテストは、委員の皆様全員にご協力いただきたいと考えてございます。時期としましては、令和7年2月の前半を見込んでございます。サイト全体の操作のイメージ等をご確認いただく予定でございますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

このリニューアルサイトの公開時期につきましては、2月末を予定しております。リニューアルに合わせまして、サイトの認知度向上に向けて、カードやチラシの作成及び配布を実施する予定です。

参考資料の2をご覧ください。

こちらが、がんポータルサイトのリニューアルイメージとしまして、11月にユーザーテストを実施した際のトップページ案でございます。現在、保健医療局のサーバー上にありますサイトを外部サーバーへ移行することによりまして、デザイン、レイアウト等の調整が可能となり、より見やすいサイトに改修していきたいと考えてございます。

トップページで掲載する予定に関して、まずは冒頭に「患者さん・ご家族の方へ」、「医療従事者の方へ」、「企業の方へ」といった必要な情報への入口を設けることを考えてございます。

また、拠点病院等につきましては、検索機能や絞り込み機能を追加すること、また、いつどんなイベントが開催されるか一目で分かる作りとして、イベント情報の発信力を強化するという形で、下のインフォメーションにこのような形で載せることを考えてございます。

こうした点につきましても、ユーザーテストの結果を踏まえまして、より分かりやす

く使いやすいものとなるように検討しているところでございます。

資料3にお戻りいただければと思います。

3 ページ目をご覧ください。

「東京都がんポータルサイト」のリニューアルに関する前回WGの主な意見と対応についてご説明いたします。

まず、小児・AYA世代がん関連全体の継続掲載のコンテンツにつきましてのご意見と対応でございます。こちらに、情報の掲載方法についてのご意見をまとめてございます。

掲載方法を分かりやすくして欲しい、患者さんがどういう情報を求めているかという視点が大事である、「小児がん・AYA世代がん」のボタンを押すと、関連情報をまとめたページが表示されるのか、といったご意見をいただいております。こちらにつきましては、ユーザーテストの結果を踏まえまして、各情報を分かりやすく掲載することで、利用する方が確認したい情報にスムーズにアクセスできるように整理していきたいと考えてございます。

次に、医療従事者向けと患者向けのページを分けて掲載するのか、というご意見をいただきました。こちらにつきましても先ほどお示ししましたように、患者向けと医療従事者向けの入口を設けまして、そこからそれぞれの情報にアクセスできるような形を予定してございます。

また、イベント情報の掲載方法に関しましては、小児がんやAYA世代がんのページに掲載するのか、というご意見をいただいております。イベント情報につきましては、全分野の情報をポータルサイト上でトップページに集約して掲載いたします。掲載に関しましては、分野ごとに色分けしたタグをつけて、それがどういったイベントであるかを区別できるようにしていく予定でございます。

次のスライドにお進みください。

まず、表題についてのご意見でございます。患者向けの情報につきましては、言葉を易しくして表題をつけて欲しい、というご意見をいただいております。これに関連して、同じ内容の情報であっても患者向けには分かりやすい言葉での情報であったり、医療関係者向けには専門性のある情報があってもいい、というご意見をいただいております。ご意見のとおり、患者向けの情報の表題や内容につきましては、より分かりやすい記載となるように調整していきたいと考えてございます。

また、表題を「AYA世代がん」とした場合に、患者ご自身に向けての情報ということが伝わるか、というご意見をいただいております。こちらにつきましては、分かりやすい記載になるように検討しました結果、対象年齢を追加しまして「AYA世代がん（15歳から39歳）」とする案をご提示させていただきたいと思っております。この案以外にもご意見がありましたら聞かせていただければと思います。

次に、SNS等を活用した発信を考えているか、です。こちらにつきましては、リニ

リニューアル後はSNSでシェアできる機能を追加する予定としてございます。例えば、共有するといったボタンを押しまして、そのページへ進むリンクをSNSの画面に追加するようなイメージを考えてございます。

また、スマホ版のサイトも作るのか、というご意見をいただいています。こちらもしリニューアルに合わせまして、スマホ版も作成していきます。

次のスライドにお進みいただければと思います。

見直し予定のコンテンツについてのご意見と対応でございませう。

小児・AYA世代がんの情報としまして、東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会相談情報部会が作成するリーフレットは掲載するのう、というご意見をいただいています。こちらのリーフレットにつきましては、これまで手渡しをした上で説明する運用をしてきてございますので、ポータルサイトへの掲載については協議会と調整していきたいと考えてございませう。

次に、患者向けの情報と医療従事者向けの情報はある程度分けた上で、互いにアクセスできる形が大事である、というご意見をいただきました。こちらにつきましては、患者向けのページと医療従事者向けのページに相互にアクセス可能なリンクをつけまして、確認したい情報にスムーズに移動できるようにしたいと考えてございませう。

患者向けの啓発資料につきましては、分かりやすい位置に掲載して内容についても冒頭で概要を理解できるようにして欲しい、とご意見をいただいています。こちらに関しましても患者向けの情報につきましては、分かりやすい位置に掲載して、情報のアウトラインが分かるように工夫していきたいと考えてございませう。

次のスライドです。

新たに追加予定のコンテンツについてのご意見と対応でございませう。

患者向けの新たなコンテンツ案としましては、学業継続や就労支援、親ががんになったときの子への支援、きょうだい支援に関する都の取組はどうか、というところなんです。これに関しましては、確かな情報を掲載しているウェブサイトのリンクに誘導する形が取れるとよい、例として国立がん研究センターやがんの子どもを守る会のホームページなどのご意見をいただいています。こちらにつきましても、公的な支援についての情報を掲載するとともに、適切な外部サイトを活用していきたいと考えてございませう。

公的な支援に関する情報の例としては、学業継続の取組としましては東京都における病院内教育、また就労支援の取組としましては、治療と仕事の両立に関する相談窓口、子育て支援の取組としましては、区市町村の子育て支援サービスの一覧、都の子育て支援サービスなどを掲載したいと考えてございませう。

次に、長期フォローアップに対応可能な医療機関についての情報掲載ができるまでは、がんの子どもを守る会の健康管理サイトを紹介するのはどうか、というようなご意見もいただいています。こちらにつきましては、お二人の委員からの事後意見となつてございませう。対応としましては、小児がん患者の長期フォローアップに関する情報とし

て、こちらの健康管理サイトのリンクを掲載させていただきたいと考えてございます。
ここまでの内容につきまして、何かご意見等がございましたら伺えればと思います。
以上、よろしくお願いいたします。

○松本WG長 田村課長、どうもありがとうございました。

事務局から東京都がんポータルサイトのリニューアルに関する前回ワーキンググループの主な意見とその対応についてご説明がございました。

それでは、ここまでの内容につきまして、ご意見、ご質問がございましたら、チームスの挙手ボタンで挙手をしてから発言していただければと思います。

どんなことでもいいですので、前回こういう意見を言いたかったけど、言えなかったとか、こういうことを今回言われたけど、どうでしょうかといったことがございましたら、遠慮なくお手をお挙げいただければと思います。

○清水委員 国際医療センターの清水です。

A Y A世代について、15歳から39歳までとご説明いただく件です。例えば、妊孕性温存は40歳を越えた方も少し関連してくる話であり、「A Y A世代」と書いてしまうのがいいか分からないのですが、もう少しテーマに基づく形にしてもいいと思います。前回の意見と逆行するかもしれませんが、はみ出してしまう年齢の人に関しては、どうお考えでしょうか。

○松本WG長 ありがとうございます。

今までは「A Y A世代がん」と表題を作ったという話でした。「A Y A世代」だと、誰がA Y A世代か分からないというご意見があり、一応15歳から39歳と年齢を区切りましたが、確かに妊孕性温存に関しては42歳、43歳辺りまで来てしまいますね。そういうのはみ出した方が、確実にアクセスできるようにすべきではないかという、ご意見でよろしかったですか。

○清水委員 適切に言い換えていただいて、ありがとうございます。

○松本WG長 田村課長、どのようにしたらよろしいでしょうか。

○田村医療連携・歯科担当課長 「A Y A世代」の表記に関して、一般的な年齢は39歳までですが、確かに妊孕性では43歳まで対象になりますので、表記に関しては検討させていただきます。

○松本WG長 ありがとうございます。川上委員、願います。

○川上委員 東京都医師会の川上です。

「A Y A世代」という表現に関して、何かを検索するときに、「自分は何世代だから」という検索をするだろうかという点があります。例えば、親御さんが検索をかけるとしたら「18歳、何々について知りたい」など、年齢を入れると思います。

サイトとして「A Y A世代がん」という書き方はあってもいいのかもしれませんが、一般の方が検索したときに「A Y A」と入っていなければ到達できない設計だと、この

ページを見ていただけなくなると思います。A Y A 世代は「思春期からヤングアダルト」だと思いますが、一般的にヤングアダルトという表現は通っていないと思うので、一般の人が知っているのは「思春期から青年期」だと思います。「思春期」「青年期」とか一般の人が検索するときの検索ワードは、「何歳、何々について知りたい」という形で患者の年齢を入れると思います。そうした検索ワードでがんポータルサイトのA Y A 世代がんにアクセスできるに設計されているか、という点をご確認いただけたらと思います。

そうすれば、妊孕性の清水先生のお話のようなことも、39歳で切ったからとかではなくて、43歳まで含まれるならそこに入るし、その辺りをできればもう一度検証していただいて、情報にアクセスできるようにしていただくといいと思います。

あとは、SNSでのシェアとかスマホ版というのを、あえてスマホ版として別の設計にするのか、スマホに自動変換するような造りにするのかで、作成の効率と利用の効率が違ってくると思いますので、ご検討いただければと思いました。

○松本WG長 川上委員、どうもありがとうございました。

検索ということですが、難しいですね。確かに「A Y A 世代」のがんについて、小児のがん専門医は99%ぐらいの人が知っています。2016年に調べたとき、成人の医師ではA Y A 世代の認知が50%程度しかなかったので、半分の方がA Y A 世代というものを認知していないと思います。専門家でもこの状況です。実際にその世代の人は、「A Y A 世代」で検索することは無いと思います。この辺りをどうしたらいいのか難しいですが、田村課長、お願いできますでしょうか。

○田村医療連携・歯科担当課長 検索に関しては、確かに年齢で検索する方が多いと思いますので、39歳と書くよりは30歳代とか、43歳まで含むのであれば、おおむね15歳から30歳代ぐらいとか、少し曖昧にした表現もあると感じています。

○松本WG長 例えば、43歳はA Y A 世代という定義には無いわけです。そのところが難しいです。A Y A は29歳と言っている世界もありますので、何か皆さんいいアイデアはありますか。

SNSのことはまた後で議論したいと思います。まずはA Y A 世代の表題について、一般的に15歳から39歳と書くのは、定義としてはいいと思いますが、それでいいのか、もっと幅広に書くのがいいのか、何かございますか。

渡邊委員、いかがでしょうか。

○渡邊委員 「若年でがんを経験した方」もいいと思いました。小児・A Y A 世代のA Y A 世代という言葉が東京都として広報したいということであれば「A Y A 世代」を残して、その代わり説明のところに「若年」と入れてもいいと思います。青年とか壮年期は、難しいかなと思うので、若年がいいと思いました。

○松本WG長 ありがとうございます。

清水委員、いかがでしょうか。

○清水委員 スクリーニングシートの項目は、割と参考になると思います。成人世代の苦痛のスクリーニングシートからA Y A世代の苦痛のスクリーニングのシートを作るときに、共通する部分も多数あります。A Y A世代特有の項目として、子供ができるのか、小さいお子さんを持っているときはどうなのか、妊孕性について、新規就労についてなど、世代特有のニーズが加わっています。ニーズごとに目次を作って、そこから選ぶのもありではないかと思いました。年齢でここに入ってくださいというよりも、共通する部分をしっかり使えるようにしていくという意味でも、そう考えました。

○松本WG長 ありがとうございます。入口としては医療者向けと患者向けがあるので、患者向けの入口に確実にA Y Aだけではない人たちもうまく誘導するには、どうしたらいいですかね。項目別となると、入口自体もそういう入口を多く作っていくことになりそうですか。

清水委員、いかがですか。

○清水委員 A Y A世代のスクリーニングシートを共有させていただいてもいいですか。

○松本WG長 お願いします。

○清水委員 スクリーニングシートは、国立がんセンターが開発した困り事を見落とさないためのツールです。関連する問題について、ここから全部出すのは、項目として多過ぎると思いますが、がん治療のこと、副作用のこと、家族に関すること、日常生活に関すること、気持ちに関することなどの大きな入口があって、その中にA Y A特有のこととして、学校のこと、育児のこと、子供はできるのかといった項目が入っています。

全てこれを使うわけではないですが、患者が見たときに自分のニーズのところに行きやすいというのはこういう画面かと思いました。

○松本WG長 ありがとうございます。

扉を幾つも作って、それを開いていかなければ情報が出てこないとののは、厳しいと考えました。ありがとうございます。

鈴木委員、お願いいたします。

○鈴木美穂委員 S T A N D U P !!の鈴木です。

今、サイト内検索の話を主にしていると思います。実際、がんになったときに検索するときは、サイトまでたどり着かずに普通にグーグル検索やヤフー検索で情報を調べることが多いと思います。その際、がんになったときに「A Y A」という言葉を使わないし、子供を産みたいと思ったときに「妊孕性」という言葉もなかなか使わないと思います。そのため、例えば「がん 子供 産みたい」で、確実に検索できることが大事だと思います。サイト内を整えるのは大事ですが、どんなことも平易な、よく検索されそうな言葉で有益な情報が表示されるようにS E O、対策等もしていただけたらと思います。

参考までに、「がん 子供 産む」と検索すると、最初に国立がん研究センターの「がん治療と妊娠出産についての相談、診療連携」が出てきます。これは「妊娠出産」に確実に置き換えて、かつ「産む」という言葉もヒットするようにしていると思いますので、

そうした対策もぜひお願いしたいと思います。

妊孕性に限らず、就労も「働く」や「働き続ける」などいろいろな言葉で検索されると思うので、検索時にそのサイトにたどり着けることを一つ一つの記事で対策いただければと感じています。

- 松本WG長 ありがとうございます。確かに検索ワードが適切でないとスムーズにたどり着けないですし、皆さん、ホームページで最初からたどっていくよりは、検索エンジンやSNSから入ってくる方が非常に多いと聞いております。表題を「AYA世代がん」とするときに、「AYA世代がん（15歳から30歳代）」とするのか「39歳」とするのかは、どちらかというところ39歳で検索する人もいないと思うので、定義としては正確に書いたほうがいいです。「一般的に」や「概ね」などの言葉をうまく使って、内容が確実に検索できるようにするのがよいと考えました。

また、先ほど川上委員からもありましたように、SNSでのシェアに関しても、業者の方を確実に加えてSNSからアクセスできるようお願いできればと思います。私はLINEで東京都の友達になっていますが、その友達サイトから「がん」という言葉が一切なく残念な思いをしました。お友達サイトに何気に出ていると、何だろうと思ってクリックすることはあると思います。

他に皆さんご意見はございますか。どうぞ遠慮なくお話しいただければと思います。

渡邊委員、どうぞ。

- 渡邊委員 内容について「社会保障制度などの公的な支援制度」が追加になるということで、染谷先生のお書きになられたものを先ほど見させていただきました。支援制度の全部が載っていますが、AYA世代に使えるものといえますか、分かりやすくなると思います。

- 松本WG長 田村課長、大丈夫でしょうか。

- 田村医療連携・歯科担当課長 この後の資料の説明に出てくる継続掲載コンテンツの追加部分のことだと思います。「社会保障制度などの公的な支援制度」として、染谷先生に書いていただいている部分に関して、表現等、分かりにくいところがあるようでしたら、改めてより分かりやすい表現等に修正できるよう、後で染谷先生とご相談できればと思います。

- 松本WG長 ありがとうございます。今から資料のご説明がございますので、そのときに、お知らせいただければと思います。

現在のところ、追加予定のコンテンツの長期フォローアップまでの説明ですが、何か他にご意見等はございますか。

それでは、後半の部分につきましてご説明をお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

- 田村医療連携・歯科担当課長 引き続き、説明させていただきます。スライド7枚目を

ご覧ください。

ここからは、今後の掲載内容案についてご説明いたします。資料につきましては項目ごとに、掲載内容案もしくは整理案を記載してございます。

まず、継続掲載予定のコンテンツでございます。1から5までは前回のワーキンググループで説明した項目となっております。これらの「AYA世代がん相談情報センター」、「AYA世代がん患者・家族への相談支援マニュアル」、「15～39歳の患者さんへ」、「若年がん患者在宅療養支援事業」、「小児がんの療養生活～知っておきたい10のポイント～」に関しましては継続掲載といたします。

今回追加いたしました「社会保障制度などの公的な支援制度」につきましては、患者さんやご家族が利用するタイミングごとに、それぞれの社会保障制度などについて概要と詳細、相談や受付窓口をまとめたコンテンツとなっております。こちらに関しましては、全世代に共通する内容でございますけれども、小児・AYA世代のページからもアクセスできるようにする予定としてございます。先ほどご意見いただきましたので、その中身の表現等につきましては少しご検討させていただければと考えています。

次のスライドにお進みください。

こちらが見直し予定のコンテンツでございます。1から4までは前回のワーキンググループで説明した項目でございます。

1の「東京都の小児がん対策」につきましては、情報につきましては、既存の情報を整理し、より分かりやすく掲載する予定としてございます。案としましては、小児がん、AYA世代がんについてのページを設けること、また東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会の取組を紹介するページを追加すること、また掲載中の四つの取組などについてはより分かりやすくしていくということを検討してございます。

2の「東京都若年がん患者等生殖機能温存治療費助成事業」につきましても、現在の構成をより分かりやすくしまして、確認したい情報にスムーズにアクセスできるよう整理を進めていきたいと考えてございます。また、東京都がん・生殖医療連携ネットワークの取組を紹介するページも追加したいと考えてございます。

3と4のコンテンツにつきましては、2のコンテンツに統合した形で整理したいと考えてございます。

今回追加しましたのがアピアランスケアになります。こちらにつきましては、アピアランスケア支援事業と患者向けの情報を掲載しているページになりまして、構成を見直すことと、加えまして、市町村の相談窓口の情報が該当ページから直接閲覧可能という形にしまして、確認したい情報にスムーズにアクセスできるようにしたいと考えてございます。

次のスライドになります。

東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会の取組を紹介するページにつきましては、このようなイメージでの構成を考えてございます。協議会のトップページから「協議会

について」では、組織や参画施設などを掲載し、また「専門部会について」では、各部会の目的や計画、活動実績などを掲載する予定としてございます。

次のスライドをご覧ください。

若年がん患者等生殖機能温存治療費の助成事業に関連するコンテンツのイメージとなっております。患者向けと医療従事者向けのページを分けて掲載する予定で、医療従事者向けのページには患者向けの情報も合わせて掲載するような形のイメージ図となっております。

以上が見直し予定のコンテンツについての説明になります。

次のスライドにお進みください。

こちらは、新たに追加予定のコンテンツとなっております。

1の小児慢性特定疾患児童等自立支援事業を紹介するコンテンツに関しましては、概要を掲載した上で、詳細につきましては事業を実施している福祉局のホームページで確認できるようにリンクを掲載する予定としてございます。

2の小児がん患者の長期フォローアップ、移行期医療につきましては、概要を掲載した上で、がんの子どもを守る会の健康管理サイトのリンクを掲載する予定としてございます。また、長期フォローアップに対応可能な医療機関の情報につきましては、現時点では掲載が難しいとは考えてございますが、今後対応できるように検討を進めていきたいと考えてございます。

前回ワーキンググループでいただいたご意見の学業継続、就労支援、家族支援につきましては、公的な支援に関しての情報を掲載するとともに、適切な外部サイトを活用していきたいと考えてございます。

以上が新たに追加予定のコンテンツについての説明になります。これまでのところで何かご意見等がありましたら、お伺いできればと思います。

事務局の説明は以上になります。

○松本WG長 ありがとうございました。

ただいま今後の掲載内容案について、事務局からご説明がありました。ここまでのところに関しまして、何かご意見、ご質問がありましたら、どうぞ遠慮なくお手を挙げてください。よろしくお願いいたします。

清水委員、お願いします。

○清水委員 妊孕性温存に関する都の事業と、国の妊孕性温存研究推進事業があると思いますが、これは別物という理解でよいのでしょうか。別物であれば、国の事業についても併せて入口だけでも掲載いただけたほうが親切かと思った次第です。

○松本WG長 事務局、いかがでしょうか。

○田村医療連携・歯科担当課長 都の事業は、国の事業のスキームで実施しています。都としては、国の補助以外の部分で凍結保存の更新費用について追加で助成していますが、

基本的にはスキームとして国の補助の中で実施している形になります。

○清水委員 国の事業に協力している方が、都が助成している更新費用についても助成を得られるという理解でよろしいですか。国の事業に参加していない方は、都の更新費用の助成を受けることはできないということでしょうか。基本的には、国の事業の妊孕性温存研究推進事業に参加しているというのが原則ということと理解しました。ありがとうございます。

○松本WG長 確かに、その辺りは若干分かりにくいと思います。私たちですらよく分かっていないところがあるので、一般の方が国の事業と都の事業が二つあって両方とも助成を受けられると誤解されないように、お願いできたらと思います。ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。何かご意見とかご質問がございましたら、どうぞ遠慮なくおっしゃってください。どんなことでも結構ですが、いかがですか。

橋本委員、いかがですか。

○橋本委員 皆様のご意見に加えることは特に無いです。

○松本WG長 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

○清水委員 東京都がんポータルサイトの妊孕性温存に関する「はじめに」などの説明を読んでいます。国の事業に関しては研究推進事業で、レジストリー研究に参加することに同意いただける方が対象になることが、説明に出ていないと思われます。その辺の内容を、しっかり理解している人に確認いただいたほうがいいのではと思いました。

○松本WG長 ありがとうございます。事務局、いかがでしょうか。

○事務局（中村） 東京都の中村です。清水先生、ご意見ありがとうございます。

確かに我々もこの事業を実施している中で、いろいろな方々からそういったご意見をいただく機会がございます。今回を機に、国の事業と都の事業の関係、国の事業を使って都が実施していること、研究事業に参加していることが重要な要件になっていること、それに加えて、都で上乘せして実施していることもしっかり分かるような形にしたいと思います。新たなページにつきましては、そういった形で対応したいと思いますので、よろしくお願いします。

○清水委員 ありがとうございます。よろしくお願いします。

○松本WG長 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

アピアランスケアの市区町村の助成窓口については、東京都内で助成を実施していない区市町村もあるとお伺いしたことがあります。これは実施している区市町村がここに載るといような形でよろしかったですか。

○田村医療連携・歯科担当課長 実施している自治体の一覧を今までPDFで載せていましたが、スマホ等ではPDFを開いて見るのが難しいところがございますので、直接サイト上で見て、区市町村の担当窓口にアクセスできるような形で考えてございます。

○松本WG長 分かりました。そうすると、これから次々と情報が増えていくイメージで

よろしいですか。掲載内容を随時見直して、そこにリンクを追加して載せていく形でよろしかったでしょうか。

○田村医療連携・歯科担当課長 実施する区市町村が増えてきますと、その分を随時追加させていただく形になります。

○松本WG長 区市町村を追加したことを、ニュースとしてサイトの最初に掲載していけば、他の区市町村が「うちもやろうか」となるのではと思いました。ぜひそういう工夫もお願いいたします。ありがとうございました。

他に何かご意見はございますか。よろしいですか。

全体を通してでも結構ですので、お話ししていただければと思います。もし今お話ができないようでしたら、また後日、事務局にご意見をお寄せいただければと思います。

来年には、ユーザーテストが実施されます。その内容を見た上で、またご意見を述べていただき、意見を受けて改善していくことが大事だと思っておりますので、よろしくお願いします。

○田村医療連携・歯科担当課長 鈴木彩委員から、チャットが入っています。

○松本WG長 「うまくカメラとマイクが機能せず、発言できなくて申し訳ございませんでした。情報はある程度網羅できているのではないかと思います。あとはこの内容にアクセスできるまでの見せ方なのかと思っております。」とのことです。

特定の検索ワードで確実に新サイトのページに繋がるよう業者の方と相談したうえで、実際にユーザーがアクセスできるよう我々も繰り返し確認することが大事だと思います。ありがとうございました。

他にご意見はございますか。よろしいでしょうか。

特に無いようでしたら、事務局にお返ししたいと思います。

○田村医療連携・歯科担当課長 本日は、本当に活発なご意見を頂戴しまして、誠にありがとうございました。

この後、先ほどお示ししましたように第2回目のユーザーテストを皆さんに実施していただく予定です。その際に、実際に見ていただいた上でまたご意見をいただいて、修正を反映できればと考えてございます。

また、本日の議題につきましてさらにご意見がある場合は、来週の金曜日、12月27日までにメールでご意見をいただければと思います。

事務局からは、以上になります。

それでは、第11回小児・AYA世代がんワーキンググループを終了したいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

(16時49分 閉会)